

イエス時代のガリラヤ地方と 一神教の系譜を探る

—イスラエル、テル・レヘシュ遺跡における最初期シナゴグの発見—

2016年12月17日(土)

入場無料・先着順

13:30～16:40 (開場13:00)

天理大学杉之内キャンパス 2号棟4階24A教室
(天理市杉之内町1050 / 天理駅より徒歩25分程)



天理大学・立教大学の研究者を中心に組織された日本の調査団が、2016年夏、イスラエルのテル・レヘシュ遺跡にて、西暦1世紀に遡る初期シナゴグの建築遺構を発見しました。ナザレのイエスが活躍していた時代の初期シナゴグは、これまで7例しか知られておらず、今回の新発見は国際的にも注目を集めています。

そこで、今回のシンポジウムでは、テル・レヘシュの初期シナゴグが、地域史・宗教史のなかでどのような意義を持つのか、各分野の専門家の報告を通して検討を行います。

- 13:30-13:40 開会挨拶
趣旨説明
桑原久男 (天理大学文学部教授)
- 13:40-14:10 テル・レヘシュにおける初期シナゴグの発見
… 橋本英将 (天理大学文学部准教授)
- 14:10-15:00 新約聖書時代の初期シナゴグ
… 山野貴彦 (聖公会神学院、日本聖書神学校、農村伝道神学校 講師)
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-16:00 一神教の成立とガリラヤ地域
… 市川裕 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- 16:00-16:40 シンポジウム 初期シナゴグの新事例発見の意義
… 司会：桑原久男・山内紀嗣 (天理大学非常勤講師)
… コメント：月本昭男 (上智大学教授)



主催：文部科学省科学研究費助成事業基盤研究 (A)
「ユダヤ・イスラーム宗教共同体の起源と特性
に関する文明的的研究」課題番号 25257008
研究代表者 市川裕
共催：天理大学文学部考古学・民俗学専攻
(Tel: 0743-63-9035)
天理大学附属天理参考館